



第42回 中国四国大学保健管理研究集会 報告

松山大学学生部保健室 谷川容子

2012年8月29、30、31日に香川県 サンポートホール高松で開催されました第42回中国四国大学保健管理研究集会について、ご報告いたします。



保健・看護分科会情報交換会



2012年8月29日、研究集会初日の看護職の勉強会では、「発達障がいのある学生をどう理解し、どう支援しますか？」と題して香川大学教育学部特別支援教育講座 坂井聡先生による講義がありました。講義は、時折クイズも交えながら行われ、大変ユーモラスなものでした。大学は社会へ移行するための機関であり、どの学生も本当の力を発揮できるように、障がいと言う枠を超えてみることで支援のアイデアが浮かんでくる、困っていることを考え共に解決していくことが大切であると学びました。





「情報交換会」

第 42 回中国四国大学保健管理研究集会

2012 年 8 月 30、31 日には特別講演・教育講演・一般研究 24 題の発表がありました。

特別講演は、香川大学長 長尾省吾先生による「生活習慣病としての脳血管障害」で、脳血管障害が発症する原因や病態、症状、治療や予防についてあらためて再確認しました。

教育講演は 3 題「女子学生のからだところの健康のために」「海外渡航時の予防接種」「大学生の自傷行為の理解と対応」があり、それぞれの学びを深めることができました。

一般研究発表では、主要業務の健康診断から、日常の健康相談、精神保健にいたるまで、さまざまな発表に、質疑や意見交換も活発に行われました。



「開会式」



「教育講演」



「一般研究発表」



「総会」



情報交換会・懇親会



懇親会はCOLONによる「サヌカイト」のウエルカムミュージック「アメージンググレイス」「アベマリア」で始まりました。引き続き「星に願いを」とオリジナル曲の「木漏れ日」のミニコンサートがありました。最後に盛大なアンコールに応じて、「ジュピター」。とても素晴らしい音に皆聴き入っていました。1300 万年前の溶岩サヌカイトの音は大変音域が広く、さまざまな高周波音が含まれているのだそうです。その太古の眠りから作られた楽器「サヌカイト」は鉄琴やオルゴールのような美しい音。音域が広く、聴くと心が落ち着き、ヒーリング効果があるそうです。COLONのお二人はくらしき作陽大学音楽部音楽科打楽器専攻卒業後倉敷チボリ公園専属楽団で活躍され、現在日本で、いえ世界で唯一のサヌカイト奏者として意欲的に活動されています。





「美しく澄んだ響きが聞こえてきませんか？」

お料理も大変美味しく、讃岐を満喫したシアワセな一日でした。



以上

